

## 事例 8 歌唱と鑑賞を関連させ「思いをもって歌唱表現を工夫する」題材構成の工夫と指導の展開

○学年 第6学年

○領域・分野・題材名 A表現(1)歌唱 「詩と音楽との関わりを味わおう」

○事例のポイント

- ①児童の思考・判断のよりどころとなる主な音楽を形づくっている要素は、【音色、強弱、音の重なり】である。
- ②思いや意図に合った音楽表現をするために、どのような知識を身に付けたり、技能を高めたりする必要があるかを子どもが主体となって追求する活動を例示する。
- ③自分だけでなく、家族や地域の人々の思いを自分たちの表現に生かすための指導を展開する。

### ICTを活用した主な学習

児童の思考力、判断力、表現力等の記録・共有

### ICT活用の利点

- ①Google スプレッドシートで共同編集することで、教師も児童同士もリアルタイムで文章化された思考を共有することができる。また、題材を通して一つのファイルの中の異なるタブで「個人での鑑賞」【資料1】→「グループでの歌唱」【資料2】→「個人でのまとめ」【資料3】を共同編集・閲覧できる。
- ②題材を通して上記の活動を積み重ねていくことで、新たな知識の習得、そして思考の変容や蓄積を、児童本人、児童同士、教師がいつでも確認することができる。
- ③言語化された思考力、判断力、表現力等の過程だけでなく、児童同士で撮影した歌唱の動画、教師が撮影した話し合いや演奏の試行錯誤の動画を記録、蓄積していくことで、児童も教師も表情、歌声、発言等を振り返りや評価に生かすことができる。

## 1 題材名 詩と音楽との関わりを味わおう（5時間扱い）

## 2 題材について

### (1) 児童の実態

児童は音楽活動に積極的に取り組み、本校の伝統として引き継がれている鼓笛隊があることで、休み時間に自主的に音楽の演奏をすることが日常的になっている。音楽表現の得意不得意にかかわらず、音楽の学習に対して関心が高い児童が多い。

これまでに、音楽を形づくっている要素を根拠として児童同士が話し合い、協働的に音楽づくりをしたり、器楽演奏をしたり、鑑賞活動に取り組んだりしてきた。しかし、歌唱においては児童の思いを深め、音楽表現を工夫する活動よりも、発声やハーモニーなどの技能を重視した活動に偏りがちであった。

### (2) 題材について

本題材では、古くから日本で歌い継がれてきた歌を鑑賞したり歌ったりする。まずは鑑賞する中で歌詞と旋律が一体となった歌のよさを味わいながら、それがどのような表現方法として表れているのかをグループや学級全体で確認し共有する。次に、鑑賞したことを生かして思いや意図に合った歌い方を考え、話し合う。そして、その思いや意図を伝えるための歌い方を工夫する。

このように、思考力、判断力、表現力等と知識及び技能の資質・能力を児童が主体的に身に付け、結びつけていく学習を通して、これまでの課題であった「思いを深め、歌で表現する」ことができるようになる。

また、共通歌唱教材の「ふるさと」について家族や地域の人にインタビューをすることで、家族や地域の思いを歌で表現したり、「ふるさと」という共通教材で人と人との結びつきを感じられたりできるようにする。

(3) 学習指導要領との関連について

本題材では、学習指導要領のA表現(1) 歌唱ア、イ、ウ(イ) (ウ)、B鑑賞ア、イを指導するものとする。

本題材の学習において、児童の思考・判断のよりどころとなる主な音楽を形づくっている要素は、「音色」、「強弱」、「音の重なり」である。

### 3 題材の目標

- (1) 曲想及びその変化と、音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能や、各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。 〈知識及び技能〉
- (2) 音色、強弱、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったり、曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。 〈思考力、判断力、表現力等〉
- (3) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や鑑賞の学習活動に取り組み、詩と音楽との関わりを味わう。 〈学びに向かう力、人間性等〉

### 4 教材について

- |            |      |         |             |
|------------|------|---------|-------------|
| (1) 「花」    | 武島羽衣 | 作詞／滝廉太郎 | 作曲          |
| (2) 「箱根八里」 | 鳥居 忱 | 作詞／滝廉太郎 | 作曲／長谷部匡俊 編曲 |
| (3) 「荒城の月」 | 土井晩翠 | 作詞／滝廉太郎 | 作曲／鹿谷美緒子 編曲 |
| (4) 「ふるさと」 | 高野辰之 | 作詞／岡野貞一 | 作曲／浦田健次郎 編曲 |

### 5 学習指導要領の指導事項と〔共通事項〕との関連及び具体的な学習活動

|          |                                                                                                                        |                                                                      |
|----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------|
| 指導事項     | 歌唱ア                                                                                                                    | 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつこと。 |
|          | 歌唱イ                                                                                                                    | 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解すること。                                       |
| 指導事項     | 歌唱ウ(イ)                                                                                                                 | 呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付けること。                      |
|          | 歌唱ウ(ウ)                                                                                                                 | 各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けること。                              |
| 指導事項     | 鑑賞ア                                                                                                                    | 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴くこと。                  |
|          | 鑑賞イ                                                                                                                    | 曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりについて理解すること。                                      |
| 〔共通事項〕   | ア                                                                                                                      | 音色・強弱・音の重なり                                                          |
|          | イ                                                                                                                      |                                                                      |
| 具体的な学習活動 | ・ 楽器の音色（声色）や旋律の動きを感じ取りながら聴く。<br>・ 曲が表している様子を思い浮かべ、歌声の音色を工夫する。<br>・ 旋律に合わせて体を動かすことで、曲想を感じ取る。<br>・ 歌詞の内容を生かして、強弱表現を工夫する。 |                                                                      |

## 6 題材の評価規準

※丸数字は、全員の学習状況を記録に残す場面

|    | 知識・技能                                                                                                                                                                                                                     | 思考・判断・表現                                                                                                                                                                                                                                                      | 主体的に学習に取り組む態度                                                                                 |
|----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|
|    | <p>①[知]曲想及びその変化と音楽の構造との関わりについて理解している。<br/>(鑑賞)</p> <p>②[知]曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。<br/>(歌唱)</p> <p>③[技]思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能や、各声部の歌声や全体の響きを聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けて歌っている。(歌唱)</p> | <p>[思]①音色、強弱、音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴いている。(鑑賞)</p> <p>[思]②音色、強弱、音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。<br/>(歌唱)</p> | <p>[態]①曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。<br/>(歌唱・鑑賞)</p> |
| 1時 | ①[知] 観察・発言・記述                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                                                               |
| 2時 |                                                                                                                                                                                                                           | [思]① 観察・発言・記述                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                               |
| 3時 | ②[知] 観察・発言・記述                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                                                               |
| 4時 |                                                                                                                                                                                                                           | [思]② 観察・発言・記述                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                               |
| 5時 | ③[技] 観察・聴取                                                                                                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                                                                               | [態]① 観察・記述                                                                                    |

## 7 指導と評価の計画（全5時間）

| 時  | ◆ねらい<br>○学習内容・学習活動<br>T：具体的な発問                                                                                                                         | ○指導上の留意点                                                                                                                                                                                   | 事例のポイント<br>◎留意事項                                                                                                                                                                                             |
|----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1次 | ◆曲想及びその変化と音楽の構造との関わりについて理解し、歌曲のよさや面白さ、美しさを味わう。                                                                                                         |                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                                              |
| 1  | <p>○「花」の旋律と歌詞の内容が結びついた歌のよさや美しさを味わって聴く。</p> <p>・気付いたことや思い浮かべたこと、感じたことを基に、曲のよさについて話し合う。</p> <p>T：「流れている感じがした」のは、なぜだろう？「音楽の木」や知っている音楽記号をヒントにして考えてみよう。</p> | <p>○歌詞を音読したり意味について意見を交わしたりすることで歌詞の内容に注目しやすくする。</p> <p>○ピアノ伴奏についての気付きにも触れ、第3時以降の歌唱分野の学習に生かせるようにする。</p> <p>○音色と強弱の特徴と歌詞の内容との関わりを思考判断のよりどころとして考えられるようにする。</p> <p>○既習事項を生かして考えられるように助言をする。</p> | <p>ポイント①</p> <p>◎【音色、強弱、音の重なり】と歌詞の内容との関わりについての観点を基に思考判断できるよう、楽曲を鑑賞する視点を明らかにして聴くようにする。</p> <p><b>ICT活用の利点①②</b></p> <p>◎Google スプレッドシートに共同編集で考えを記入していくことで、友だちの意見をリアルタイムで受け取り、共感や発見の指摘をし合うことで気付きを深め、広げていく。</p> |

|   |                                                                                                                                    |                                                                                                                              |                                                                                                                                                                          |
|---|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2 | <p>○「箱根八里」と「荒城の月」の演奏形態の違いによるよさや美しさを味わって聴く。</p> <p>・2つの曲の違いに注目しながら曲のよさについて話し合う。</p> <p>T：音色（声色）の違いによって、与える印象は変わるし、思い浮かぶ風景も変わるね。</p> | <p>○2つの曲の「違い」への注目を促すことでそれぞれの曲のよさに気付けるようにする。</p> <p>○声の組み合わせ方による違いによっても様々な曲想を感じ取ることができることに気付けるようにし、第3時以降の歌唱の学習に生かせるようにする。</p> | <p>ポイント②</p> <p>◎曲想を感じ取り、歌い方や声の組合わせの工夫に話し合いの視点を置き、歌唱分野の学習に生かせるようにする。</p> <p>ポイント①②</p> <p>◎特徴の異なる2曲のうち1曲を「推す」にあたり、説得力のある根拠を【音色、強弱、音の重なり】およびそれらと歌詞の内容との関わり方に求めるようにする。</p> |
|---|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

【資料1：演奏形態の違いによる合唱の響きのよさや美しさを味わおう。（ワークシート）】

|    | 「箱根八里」<br>鳥居 忱 作詞/滝廉太郎 作曲                                                                | 「荒城の月」<br>土井晩翠 作詞/滝廉太郎 作曲                                                                                                                                              |
|----|------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|    | 演奏形態の違いによる合唱の響きのよさや美しさを味わおう                                                              |                                                                                                                                                                        |
|    | それぞれの曲の演奏の要素を調べ、歌詞から感じる印象を書こう                                                            | それぞれの曲を「推す」が、根拠とともに書こう（同じキーワードを使いながら）                                                                                                                                  |
| A児 | 「荒城の月」は、自然の中にいるような感じがして柔らかい響きを感じました。箱根八里は、歌詞にでんかという言葉が入っていたりするので堅そうな響きかなと思いました。          | 私は、箱根八里がいいと思いました。理由は箱根八里を最初に聞いたときに、私達が目標に向かって進む言葉のように聞こえたからです。                                                                                                         |
| B児 | 箱根八里は、当座、箱根にあった場所の歴史を語っている感じがしますが、荒城の月には時代感もあふれるからおもしろい感じがします。ですが、どちらも1つのテーマにそっていると思います。 | 私は、荒城の月です！なぜなら、歌っている女性の歌声がとても素敵だと思ったからです。箱根八里は力強かったけど荒城の月には箱根八里にはないささやかな感じがして好きになりました。また、荒城の月にはピアノがより声を引き立てている感じがして、第一印象は「歌声がきれいだな」と思いました。驚くほど、切ない……。そんなメロディーもとても好きです。 |
| C児 | 箱根八里はとても深い山に行っている感じがして、荒城の月には花が思い浮かんでくる感じがする。                                            | 私は箱根八里のほうが好きです。理由は箱根八里を聞くときリズムに乗っちゃうし、歌詞が入る感じがするからです。                                                                                                                  |
| D児 | 箱根八里ではこのようにあったかという感じや手紙だけど、荒城の月には寂しさがあったのに今はないみたいな歌詞に感じました。                              | 私は箱根八里のほうが好きです。理由はそちらのほうが明るい曲だし、耳に残る曲だったからです。                                                                                                                          |
|    | なぜ「寂れている」感じに共感できたのか探る発問を投げかける<br>→C児：強弱の工夫があるから？                                         | なぜ明るく感じ、耳に残るのかを尋ねる発問を投げかける<br>→D児：明るい音色でそろってたから？                                                                                                                       |

なぜ「寂れている」感じに共感できたのか探る発問を投げかける

音色（声色）の違いによって与える印象が変わることに気づいている記述に注目するよう全体に声をかける

「柔らかい音」という音色が「自然の中にいるような感じ」を与えることを共有する

| 2次◆「ふるさと」の曲の特徴にふさわしい表現を工夫して歌う。 |                                                                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                         |
|--------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 3                              | <p>○各声部の特徴や役割を捉えて歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実際に歌いながら、自分の声部の役割を考える。</li> <li>・声部の役割を踏まえて、どのように歌えばよいかを考える。</li> </ul>                                                                                         | <p>○歌詞の意味を考えたり風景を思い浮かべたりしてから歌うようにする。</p> <p>○副次的な旋律（内声部、下声部）を担当するグループに対して、ピアノで旋律を弾いて補助し、歌いやすい環境をつくる。</p>                              | <p><b>ポイント①</b></p> <p>◎どのような歌い方をすればどのような思いが感じられるかを問いかけながら、歌い方の工夫を試行錯誤できるように促す。</p> <p><b>I C T 活用の利点②③</b></p> <p>◎歌い方を試行錯誤している様子を撮影し、振り返りに使えるようにする。</p>                                                               |
| 4                              | <p>○曲想を感じ取り、声の音色、強弱、音の重なり方と歌詞の内容とを関わりについて理解したことを生かして、表現を工夫する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループごとに演奏し、実際に歌いながらどのように歌えばよいかを考える。</li> </ul>                                                                         | <p>○グループで歌う様子をタブレットで撮影し、動画を確認し、試行錯誤しながら表現を工夫できるようにする。</p> <p>○実際に歌いながら、気付いたことや具合的にどのように歌うかなどについて、楽譜データに書き込みながら表現を工夫する。</p>            | <p><b>ポイント③</b></p> <p>◎「ふるさと」に対する家族や地域の人たちの思いも表現するために、事前にインタビュー活動を家庭学習として設ける。</p> <p><b>I C T 活用の利点①②</b></p> <p>◎「ふるさと」の楽譜データをGoogle スプレッドシートに貼り、グループで思いや工夫する点を書き込めるようにする。また、その書き込む様子をリアルタイムで他のグループや教師が見られるようにする。</p> |
| 5<br>本<br>時                    | <p>○思いや意図に合った表現をするために必要な技能を身に付け、グループごとに三部合唱をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループでどのように表現したいのかを説明して、発表する。</li> </ul> <p>○題材のまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・題材を通した振り返りを行い、ワークシートに記入する。</li> </ul> | <p>○自分の声部の音程を歌うことに不安があるグループに対してはピアノで旋律を弾いて補助する。</p> <p>○どのような思いや意図が感じられたかを共有する際、<u>そう感じた根拠を「音色」「強弱」「音の重なり」と関連させながら答えられるようにする。</u></p> | <p><b>ポイント②</b></p> <p>◎思いや意図に合った表現をするための技能として、「呼吸」「発音」「発声」を意識できているか注目させ、声かけをする。</p> <p><b>ポイント①②</b></p> <p>◎互いに歌ったり聴いたりする中で、「○○を表現するために、△△のような歌い方をしたから□□のような表現につながった」という視点を重視して振り返るようにする。</p>                         |

## 8 本時の学習指導について（5／5時）

### (1) 目標

- ① 思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能や、各声部の歌声や全体の響きを聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けて歌う。  
〈技能〉
- ② 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む。  
〈学びに向かう力、人間性等〉

(2) 展開

| <p>○学習内容 ・学習活動</p> <p><b>T：教師の発話</b>    <b>C：具体的な児童の姿</b></p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | <p>○指導上の留意点</p> <p><b>☆評価規準と評価方法</b></p>                                                                                                                                                                                                                                         |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>○本時の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・表現したい「ふるさと」に必要なだと考える呼吸、発声、発音等の確認をする。</li> </ul> <p>C 声色に優しさ、やわらかさをもたせたいから、口形や発音を意識して発声しよう。</p> <p>○グループごとに発表前の確認をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・表現したい思いやイメージを再確認し、考えた歌い方の工夫に結びついているかを再考する。</li> <li>・実際に歌っている様子を I C T 端末で撮影し、表現と技能の結びつきについてよりよい表現になるように歌い方を追求する。</li> </ul> <p><b>T</b> その歌い方で伝えたい思いが表現できるか I C T 端末で撮影して確認してみよう。</p> | <p>○本時に実践したい工夫を意識した発声をするよう声をかける。</p> <p>○保護者や地域の人々の思いや曲の歌詞の内容を踏まえて、強弱記号等をどのように生かして歌えばよいかを考え、様々な音楽表現を試しながら実現できるように促す。</p> <p>○「思いや意図に合った表現をするために、どのような技能が必要か」を確認できるような発問をする。</p> <p>○実際に歌ってみたり、動画を撮ったり、撮った動画を見たりするなどして、よりよい表現を追求できるようにする</p> <p>○ハーモニーに不安があるグループにはピアノ等で補助をする。</p> |

【資料2:児童が実際に楽譜に記入した思いや意図(ワークシート)】

始まりのタイミング  
をそろえるために。  
合図を上手くする。

## ふるさと

自然のようになぎとおった  
声で歌うためにやわらかい  
音色で合わせて人の声を  
聞いたり、よく自分の声を  
聞いたりする。  
(A児)

風景を想像しながら一人で歌っている  
ような音色で歌う。(B児)

ソプラノとアルトで旋律が  
違うから、つられないよう  
にかつ自然に歌う。

音を懐かしむように少しずつ弱  
くしていく。(C児)

アルトは力強いイメージで、ソ  
プラノをもっと引き出すために  
アルトを少しおさえる。

たくさんブレスをすると  
通き通った声できれいに歌うことが  
できるから、それを意識してアルトの  
声量をもう少し出す。

最後の子分は「さめ  
たしい思い」を表現す  
るために弱めなイメージで、  
終わるまで100%を投入  
する。(D児)

♩ = 75 ~ 84

ソプラノパートの歌詞:  
1 ういこ 2 ながに 3 きにろ おいさ いまし しすき かちは のちた やはし まはで  
こつこつ なかの つなび りしに しやか かとか のもえ かから わきん  
ゆあや めめま はには いかあ まぜお もにき めつふ ぐける りてさ てもと  
わあみ すすす わいは がいき たすよ まごさ ぶんか るるる めろろ とんぱ

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                           |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>○グループごとに合唱を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どんな思いやイメージをもって歌うのか、また、その思いや意図に合った表現をするためにどんな技能を用いるのかを事前に説明する。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | <p>○スプレッドシートに書き込まれた思いや意図と音楽表現との関連についての記述を見ながら、実際にそれらがどのように表現されているのかを確認できるようにする。</p> <p>☆<b>技</b>観察・聴取</p>                                                 |
| <p>&lt;③<b>技</b>の評価例について&gt;</p> <p>【「十分満足できる」状況（A）と判断した例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能や、各声部の歌声や全体の響きを聴いて、声を合わせて歌う技能をおおむね身に付け、歌っている。</li> </ul> <p>【「おおむね満足できる」状況（B）と判断するポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能や、各声部の歌声や全体の響きを聴いて、声を合わせて歌う技能を十分身に付け、歌っている。</li> </ul> <p>【「努力を要する」状況（C）と判断されそうな児童への働きかけの例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・思いや意図に合った表現をするために、どのような歌い方をすればよいかについて、鑑賞やこれまでの歌唱の学習で学んだことを具体的に例示し、実際に一緒に歌いながら呼吸、発声、発音等の確認をし、歌い方を試みることができるようにする。</li> </ul> |                                                                                                                                                           |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・聴く側は表現と技能が結びついていたか、という視点で発表を聴き、感想を書く。</li> </ul> <p>T どういう歌い方をしていたからどのような思いが伝わってきた、という書き方をしよう。</p> <p>○題材を振り返る。</p> <p>本題材で学んだことや発表を終えて感じたことをワークシートに記入する。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | <p>○感想はスプレッドシートに入力し、リアルタイムで全員が共有できるようにする。特に注目してもらいたい感想については取り上げる。</p> <p>○本題材を通して学んだことや、今後の音楽の学習に生かしていきたいことなどを具体的に記載できるように助言する。</p> <p>☆<b>態</b>観察・記述</p> |

【資料3:発表を終えての感想(ワークシート)】

|    | 発表を終えての反省                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| A児 | 今日は、楽譜の音楽の記号に注目して意見を出し、実際に歌ってみました。特に、最後の「ふるさと」のところはアルトがもう少し声量を出すと良いと思い、なおしたらみんなの声が良くまとまりました。また、口の形も意識して歌えて、最後の発表で「きれいな自然の川のように表現する」ということができたのでとても良かったです。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| B児 | 今日は声が少しだけ出たから歌えて嬉しかった。ハモリも釣られずに歌えたけど釣られちゃうところも、所々あったから時々、自分の耳に手を当てて、自分の声を聞いて釣られないように気をつけたい。あと声量やブレスがまだまだだから次、歌うときがあれば全体的に声量をもっと出して、ブレスは「ふるさと」の前のブレスをもっと吸えるようにしたい。他にもスラーやクレッシェンドなども気をつけていきたいです。そしてまだ表情、口形なども意識できていないところがあったので、口をもっと大きく開けて、表情をもっと笑顔で歌えるようにしたいと思います。他にも声色がまだまだ私が揃えられていないので裏声でみんなに合わせて声色を揃え、きれいに通った声で歌えているな～みんなが思ってくれるように頑張って声色を揃えていきたいです。そして聞いている側もグループの目標が伝わって歌っている側も自分の親が言っていた風景が浮かんだのでこの歌い方をこれからも続けたいです。                                                     |
| C児 | 声量調節は前回よりできたのですが、自分の中ではうまくできていなかったところがあったのでこれからの合唱の授業のときは強弱や声色を調節しながら歌い、ブレスを意識したりスラーをイメージしたり、歌の歌詞や題名でどんなイメージで歌いたいのかどのように歌いたいのかを考えてこれからの学習に活かして、また歌えるときには完璧に歌えるようにしたいです。今回のイメージや思いの「きれいな自然の川のような通った声で歌う」は今までの「ふるさと」とは違い、歌った側もイメージできるくらいうまく歌えました。これからはこれ以上の達成感を感じられる合唱を目指して行きたいです。耳を閉じて自分の声をよく聞きながら歌うことで修復点が見つかったり、イメージがしやすくなるのでこの方法を使って合唱をしていきたいです。私は合唱はやっぱり不思議な力を持っていると改めて感じました。なので、これからも今以上に合唱をする人たちが増えたり、音楽が好きな人が増えるといいなと思いました。音楽が苦手でもやってみると楽しかったりするので音楽が広がっていけばいいなと思いました。 |
| D児 | 自然の川のような綺麗な通った声で歌えるよう頑張りました。通った声で歌えたと思えますが、ときどきブレスを忘れてしまうので忘れないように頑張ります。そして自分の中で一番の目標の「つられないように歌う」ができたので嬉しかったです。あとは声量をたくさん出せるようにこれからも頑張っていきます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |

9 抽出児童（A児・B児・C児・D児）の変容について

|    | 【資料1】から                        | 教師の声かけ                              | 【資料2】から                                | 【資料3】から                       |
|----|--------------------------------|-------------------------------------|----------------------------------------|-------------------------------|
| A児 | 音色の違いによって思い浮かぶ風景が変わることに気付いている。 | 「音色の違いを自分たちの歌に生かすためには、どんな工夫ができるかな？」 | 声色をそろえるために必要な練習方法を提案している。              | 声量のバランスと口形の工夫を表現につなげることができた。  |
| B児 | 音色の違いによって与える印象が変わることに気が付いている。  | 「音色の違いによる印象の変化を自分たちの歌にも生かしてみよう。」    | 一人が歌っているように声色をそろえることで風景を想起させようとしている。   | 思いを伝えるために必要な技能を具体的に実現できた。     |
| C児 | なぜ悲しい印象を抱くのかという根拠がない。          | 「なぜ悲しく感じるのかな？音楽の要素から探してみよう。」        | デクレッシェンドで弱めるタイミングをそろえることで懐かしむ感じを出している。 | 自分がイメージするために必要な技能を具体的に実現できた。  |
| D児 | なぜ明るく感じ、耳に残るのかという根拠がない。        | 「なぜ明るく感じ、耳に残るのかな？どんな工夫がされていると思う？」   | 強弱のタイミング、休符を意識することで「忘れたくない思い」を表現している。  | 表現に必要な技能の一つとしてブレスを意識することができた。 |

## 10 「ふるさと」を歌い継ぐ子供の思い

- ・歌っている側も自分の親が言っていた風景が浮かんだのでこの歌い方をこれからも続けたいです。
- ・大人になった時に自分たちが歌ったことを思い出して、その時の思いでまた歌ってみたいです。
- ・親も歌っていたらしいので、今度は親とハーモニーを作ってみたいです。
- ・自分たちが大人になった時に、子どもたちがどんな風に歌うのかが楽しみです。